

東京都生涯学習審議会 答申

「地域における『新しい公共』を 生み出す生涯学習の推進」 ～担い手としての中高年世代への期待～

第4期東京都生涯学習審議会（大橋謙策会長：日本社会事業大学教授）は、平成13年2月に発足し、東京都教育委員会から諮問された「これからの都市社会における中高年世代の社会参画」について審議を重ね、平成14年12月4日、そのまとめを東京都教育委員会に答申しました。

この答申は、地域の連帯意識の希薄化や教育力の低下が指摘されている今日、生涯学習振興行政が力を入れるべき点は、学習スタイルを「参加から参画へ」と進め、学習の成果を生かして、地域における「新しい公共」を担う活動に住民がかかわっていく取組を支援することにあるとしています。

また、中高年世代が具体的な活動に参画するしくみづくりが重要であるとして、住民が主体になって学校教育活動を支援する「地域教育サポートネット」事業の推進を提言しています。

答申のポイントは次のとおりです。



横山教育長(左)に答申を手渡す大橋会長(右)

答申のポイント

ポイント1

「新しい公共」の担い手としての中高年世代への期待

地域における「新しい公共」の担い手は、まさしく地域住民自身である。現在のボランティア活動の中心となっているのは主婦や高齢者などの中高年世代である。

今後は、さらに、地域とのかかわりが疎遠になりがちな「会社人間」と言われる中高年が、職業や趣味などの経験を通じて培ってきた知識や技術を生かして地域の活動に参加することで、地域の中に自分の居場所を見つけるとともに、その活動を一層充実・発展させていくことが期待される。

ポイント2

「新しい公共」を生み出す生涯学習の推進

地域住民が主体的に「新しい公共」を生み出すための生涯学習を推進し、地域の活動等への参加意欲のある中高年を支援するため、活動や人との「マッチング」、参加への「きっかけづくり」、活動組織の運営に必要な「マネジメント力」向上など、生涯学習のしくみづくりが重要である。

- 情報チャンネルを広げ、「たまり場」をつくる
－「ひと」が結び合うしくみ－
- 地域を「学び合い」のキャンパスにする
－「ひと」が成長するしくみ－
- 団体支援をより開かれたものにする
－「ひと」の活動を育むしくみ－

ポイント3

都が取り組むべき重点課題

地域住民が主体的に「新しい公共」を生み出すための生涯学習は、言い換えれば、「地域をつくる学び合い」である。その取組の一つとして「地域の教育力」向上のための活動を支援する施策及び生涯学習施策について提案する。

（重点事項）

- 「地域の教育力」向上への参画をすすめる
－地域教育サポートネット事業の推進－
- 「学び合い」のキャンパスづくりをすすめる
－学校開放事業の新たな展開－
- 生きた情報ネットワークづくりをすすめる
－生涯学習情報システムの活用・拡充－

●お問い合わせは・・・

東京都教育庁計画課 電話03-5320-6853

『学校支援ボランティア情報』の提供をはじめました。

平成14年11月から、東京都生涯学習情報ホームページに「学校支援ボランティア」として御協力いただける方の情報を掲載しました。御活用いただければ幸いです。

詳細は、以下のホームページを御覧ください。

☆「東京都生涯学習情報ホームページ」

URL:<http://www.syougai.metro.tokyo.jp/>



●お問い合わせは・・・

東京都教育庁計画課システム担当
電話03-5320-6866

〈都民からの5つの呼びかけ〉

.....

- できるだけ、わが子と一緒に時間をつくろう
- 学校や先生の活動に協力しよう
- よその家の子にも、声と目をかけよう
- わが子や地域の子ともと一緒にボランティアしよう
- わが国の将来をまかせられる、たのもしい人間に育てよう

この呼びかけは、石原知事が提唱する「心の東京革命」の一環として行われた、「青少年教育国際シンポジウム」に参加した都民の皆様から提案されたものです。一人でも多くの都民が、家庭、学校、地域で子どもたちを育てていく担い手として行動しようと呼びかけています。

●お問い合わせは・・・

東京都教育庁社会教育課 電話03-5320-6859